

令和5年第1回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	
良岡理一郎 議員	1 新型コロナウイルス感染症対策について	<p>(1) 12月以降、直近までの新型コロナ感染確認数及びその特徴、今後の対策等について伺う。</p> <p>① 新型コロナ感染確認数の月別、男女別人数。</p> <p>② 症状、隔離施設、感染経路の特徴。</p> <p>③ 後遺症が厳しいとも聞く。本町の実態は如何か。</p> <p>④ ひっ迫が懸念された医療機関の実態及び国、県を含む行政の支援の実態を伺う。</p> <p>⑤ 無料PCR検査の月別、男女別人数、陽性者数。今後の計画を伺う。</p>	町長	
		<p>(2) 最大5回目ワクチン接種の実態を伺う。</p> <p>① 年代別対象者数と接種実績。町民全体及び年代別接種率。</p> <p>② ワクチン接種の効果をどのように評価したのか。</p> <p>③ 今後の接種計画。</p> <p>(3) 5月8日から感染症法上の5類への位置づけに引き下げられる。現在の2類相当との違い。とりわけ医療費の負担はどう変わるのか。受診抑制が懸念される。その対策は検討されているか。</p>	町長	
		2 マイナカード及びマイナ保険証について	<p>(1) 直近までのマイナカードの申請数、申請率及び交付枚数、交付率について国、県、および本町について伺う。</p>	町長
			<p>(2) マイナ保険証について伺う。</p> <p>① 本町の医療機関のオンライン資格確認システム（カードリーダー設置）の導入状況、見通し。</p> <p>② マイナ保険証の医療機関での利用状況。</p> <p>③ 今使っている健康保険証を2024年秋に廃止、マイナ保険証に一本化する政府の方針であるが、廃止後現在の紙の保険証は何時まで使えるのか。また、個人情報流出等の心配からマイナ保険証を保有しない国民について資格確認証を発行すること。さらには2026年には新マイナカードの発行の予定も報道されている。そもそも任意の制度が莫大な費用を浪費して事実上の強制化を進めようとしている。多くの国民が反対する理由でもある。本町においては引き続き町民個々の判断を尊重すべきであるが認識を伺う。</p>	
3 ヤングケアラー実態調査について		<p>(1) 本町のアンケート対象者数を小学校、中学校、高校別に伺う。</p> <p>(2) 県全体でのアンケート回答の特徴。ヤングケアラー比率、周囲への相談状況等の実態はいかがか。</p> <p>(3) 調査結果を受けて本町での取り組みについて伺う。</p>	町長 教育長	

令和5年第1回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
良岡理一郎 議員	4 日米共同軍事訓練について	<p>(1) 訓練の実態について伺う。</p> <p>① 日時</p> <p>② 参加人数</p> <p>③ 訓練場所</p> <p>④ 県道、町道の規制の実態</p> <p>⑤ 宿泊場所</p> <p>(2) 製糖繁忙期の訓練である。町民への説明、被害発生時の責任は明確にしてあったのか。</p> <p>(3) 今後は海兵隊等米軍との共同訓練も想定される。町としての基本認識を伺う。</p>	町長
	5 町民の福祉増進の施策の進捗について	(1) 公共交通機関の在り方見直し、バス路線、早朝・深夜のタクシー等の足回りは何時、どのように変わるか。	町長
	6 シカ駆除について	(1) 今年度の直近までのシカの駆除数。焼却処分の執行状況、その効果はどうだったか。	町長
土岐 和貴 議員	1 町長の施政方針について	<p>本町において、人口の減少に歯止めがかからず、過疎化や少子高齢化が依然として進んでおり、担い手不足や集落組織の弱体化など見られる。「子や孫の世代が住んでよかったと思える元気な島」を実現するために第6次総合振興計画を策定したと令和4年3月に発表した。</p> <p>(1) 現状と課題の中で、65歳以上の高齢者人口の増加傾向も変わらず、現在は高齢者比率も40%を超えており典型的な高齢化社会である。令和22年には5175人、令和42年には3716人まで減少すると推測されている。この危機的状況をどのようにお考えか現在の見解を伺う。</p> <p>(2) 雇用の創出とUターンの促進を実施しずっと住み続けたい、まちづくりに取り組み、人口の自然減と社会減の対策を同時並行して進めるとあるが、具体的にどのような取り組みか見解を伺う。</p> <p>(3) 分野別基本計画「子育て世代支援の推進」の中で少子化やひとり親世帯が増加、働きながら子を育てていく上で、母親に負担がかかっている。安心して妊娠・出産し、健やかな子育てができる切れ目のない支援と親と子の健康づくりを実施するとなっている。年々出産数も減少していることを踏まえて、主な取り組み支援の見直しが必要ではないか。</p> <p>(4) 今後の課題解決に向けて子育て世代の意見や考え悩みなどをしっかり汲み取り、次につなげていく必要があるのではないか。</p>	町長

令和5年第1回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
土岐和貴 議員	2 マスク着用は個人の判断に委ねる	<p>新型コロナ対策としてのマスクの着用について、政府は令和5年3月13日から屋内・屋外を問わず個人の判断に委ねる方針を決定した。</p> <p>(1) 本町はどのような形で周知徹底していくか見解を伺う。</p> <p>(2) 学校教育の現場では、新学期となる4月1日から着用を求めないことを基本とするほか、それに先だつて行われる卒業式は、その教育的意義を考慮し、児童・生徒などは着用せず出席することを基本とするとしている。教育現場において本町での取り組みを伺う。</p> <p>(3) 3年間のマスク生活で「外したい」「外したくない」双方の意見が出てくると考えられる。今後、双方が安心して生活していくためにはケアや情報共有が必須になる。町全体の取り組みや教育現場での対応策など伺う。</p>	教育長
	3 野良猫問題について	<p>昨年9月に野良猫問題やTNR（不妊手術）について質問。社会問題になっている野良猫も年々増加傾向である。TNRもあくまで野良猫の繁殖抑制かつ、苦情対策（マーキング・ケンカの声・糞尿・増えすぎた猫による交通事故）などであり、ベストな対策ではない。</p> <p>(1) 地域猫とTNRは似ているが異なる。本町は現時点での対応はあくまでTNRのみ。地域猫制度「地域の方々の同意や協力、あるいは行政の指導の下で野良猫を管理すること」を今後は対応策の一つとして考える必要があるのではないか。</p> <p>(2) 保健所や家畜保健衛生所との協働はどのようになっているのか伺う。</p> <p>(3) 奄美大島や徳之島では「飼い猫の登録・手術が義務・野良猫は徹底したTNR・山に入っている猫は捕獲」を並行して実施。全国的にも進んでいることを踏まえて、本町でも協議会を立ち上げる必要があるのではないか。</p> <p>(4) 猫は野生動物ではない。近年では独居老人や生活保護の餌やりで、増やしてしまう例も少なくない。孤立し手術する余裕もなく猫は増え続け、手に負えなくなる多頭崩壊は全国的にも起きている。今後は行政の介入、特に保健福祉関係の横のつながりも含めた対応が重要になってくるのではないか。</p> <p>(5) 今後、高齢者の独居暮らしの方々が安心して生活を実施するためにも野良猫問題をもう1度真摯に受け止め、各集落で活躍されている民生員等の連携が必須になるのではないか。</p>	町長

令和5年第1回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
生島 常範 議 員	1 男女共同参画推進について	<p>喜界町総合振興計画「未来へ繋ぐ地域づくり」の中で「男女共同参画」の取り組みを明記している。</p> <p>(1) 各委員会等での女性登用率を30%以上にする目標を設定しているが、現状は何%か。</p> <p>(2) 人材育成には経験や学習が必要と言われる。その為には「目標値50%以上」とし、多くの女性に経験や学習の場を提供し人材を広く育てる仕組みが必要と思うが如何か。</p> <p>(3) 慣例となっている「充て職」だけではなく、次世代の人材を育てる為にも組織内及び組織外も含め互選で推挙する視点も必要と思うが如何か。</p> <p>(4) 群島内には女性議員を増やす取り組みとして知名町が行政主催で昨年10月に「女性議会」を開催した。喜界町も参考にして開催できないか。</p>	町長
	2 フェリー航路について	<p>(1) 喜界町総合振興計画や令和4年度施政方針でも「2隻で週5便体制」の維持を謳っている。フェリーあまみの引退も迫りつつあり、後継船について心配する声が聞かれる。どのように考えているか伺う。</p> <p>(2) 最近、欠航の判断が早いのではとの声が多く聞かれる。荒天でも、今後快方に向かう場合、以前は定時出航後、谷山沖で「天候回復待ち」または古仁屋港沖で避泊するなど対応を行っていた。船会社の判断と島民の肌間隔との乖離が大きいように思える。船が小さくなった事も理由ではとの声も聞こえるが、欠航が多い事に対してどう思うか伺う。</p> <p>(3) 沖縄航路は4隻体制なので「ドックに付き船便無し」という日はない。一方、喜界航路は冬場の荒天が続く時期にドック入りがあり、農家の方の悩みの一つになっている。新造船建造の時期によりドックの時期が決まり、現在2月と4月がドックである。この時期に関して船会社と検討の必要が有ると思うが如何か。</p>	町長
	3 国立公園整備計画について	<p>(1) 環境省作成の「奄美群島国立公園 公園計画書」(令和2年2月26日発行)によると、本町内4か所の「整備方針」が示されている。位置は志戸桶海岸、百之台公園、荒木海岸、中西公園だが、変更予定を含めた今後の計画を伺う。</p> <p>(2) 百之台公園の整備方針は「段丘斜面、耕作地、集落及び隆起裾礁の海岸が一望できる視点場として、展望台やトイレ等を整備する」とある。水平線が360度見渡せるような展望台設置を計画できないか伺う。</p>	町長
	4 危機的状況にある言語・方言サミット開催について	<p>去る1月28日、29日知名町にて開催された沖永良部大会には本町からも登壇し島ことばで発表があり主催地の沖永良部の取り組みや各地の継承活動の団体との交流をすることが出来た。</p> <p>(1) 今回も喜界町は職員を派遣し各地の取り組み等を真剣に学んでいたが、他市町村の取り組み等を見てどう思われたか伺う。</p>	町長

令和5年第1回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
生島 常範 議 員	4 危機的状況にある言語・方言サミット開催について	(2) 今回の沖永良部大会は規模も縮小し、対面とオンラインのハイブリッド開催であった。奄美群島内で実施していない島は徳之島と喜界島だけとなった。喜界町も開催を検討してはと思うが如何か。	教育長
		(3) 対面及びオンライン参加した方から「我々高齢者は伝統文化を伝える事ができるので、各地区で親子3世代の伝承家族のモデルの公募や高齢者とのカルタや漫画を使った交流等に向けた連絡・調整等を行政にお願いできないか」という声がある。検討できないか伺う。	
		(4) 広報きかいに連載した「シマユミタ漫画」は子どもから高齢者まで好評だった。「是非再開してほしい。多様性が島の魅力なので、出来れば同じ漫画を毎月各地区の言葉で紹介しては」等の声も多い。検討できないか伺う。	
米田 信也 議 員	1 町内出産の実現性について	(1) 現在、島外での出産を余儀なくされている妊婦の皆さんから島内での出産を要望する声があります。島内出産の可能性について伺う。	町長
		(2) 2年後に新築される徳洲会病院に産婦人科を常設できるように検討出来ないか伺う。	
	2 船航路について	(1) 3, 4年後に使用耐久年度を迎えるフェリーあまみについて町に考えを伺う。 (2) 近年フェリーの欠航が増えてきた現状をふまえて、日曜日、月曜日に沖縄航路のフェリーを臨時的に寄港出来るように検討できないか伺う。	町長